

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 112号 (R2.11.22)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 11月、温かい日と寒い日が交互に訪れながら冬の足音が近づいてきた今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

一方で、新型コロナウイルス感染症の発生が拡大しており、この連休も静かな日々を過ごされている方が多いかと思えます。宮崎でもこの1週間で多くの感染者が確認されていて、全国的な感染拡大に日々ため息をつきながら、目の前の感染者の方々の対応を行っている状況です。何はともあれ、人と会う際のマスク、頻回の手洗いを基本に、皆さん一人一人が感染予防対策に取り組みましょね。

本当に早く新型コロナウイルス感染症が収束してほしいものですね。

さて、今回のニュースでは、ザンビアに行かれた山元香代子先生からの情報、出立の様子や現地の様子、そして在ザンビア日本大使館情報などをお届けします。

ザンビアからの情報（山元香代子先生より）

ザンビア入国には、PCR検査による新型コロナウイルス感染の陰性証明が必要でした。そのため宮崎市のトラベルクリニックで検査を受け、翌日に証明書を受けました。

11月7日宮崎空港から関西空港に向かいました。関西空港は閑散としていて、宮崎空港もそうでしたが、多くの店舗やレストランが閉まっていた驚きました。搭乗手続きで陰性証明書の提示が必要でした。夕方遅かったせいもありますが、両替する店舗がなく、あちこち探しまわり、自動販売機のように両替できる機械があったのですが、ドルがなく両替できません。出国審査を済ませ、ドバイで何とか両替できるだろうとあきらめかけたところ、普段はデュティフリーの店が並ぶ一角にようやく見つけました。デュティフリーの店も1軒しか開いていませんでした。待合室ではマスクを着けずに大声で話している外国人がいて、危機意識の違いを感じました。

搭乗すると、乗客は普段の1/3から1/4で3人席に一人で座れました。雑誌の類は一切置いてなく、乗務員は全員、防護服、マスク、フェイスシールド、手袋着用で、乗客全員にマスク、手袋、消毒液の入った箱を配布。その後は、マスクの着用など何度かアナウンスしていましたが、普段と変わりませんでした。ドバイに着いて荷物チェックの前に再度マスクなどの入った箱を配られました。

ドバイでの入国に際しては陰性証明書の提示は求められませんでした。1週間ほど前に日本からの乗客には免除される旨が通知されていました。ドバイの空港は、歩き回ることにはしませんでした。店やレストランは開いているようでした。以前のように乗客でごった返す混雑はありませんでしたが、それでも多くの人々がいました。おそらく中国人の乗客でしょう、防護服、マスク、フェイスシールド、靴カバーの装備をして歩いていました。

ルサカ行きの飛行機に乗るための待合室は大変な混雑でした。陰性証明書提示が必要でした。搭乗すると、ほぼ8~9割座席は埋まり、結構密な状況でした。ルサカの空港に着く前に詳細な健康チェックの書類の記載が必要で、11月8日到着後、再度陰性証明書の提示をし、体温を測定後に入国審査でしたが、いつもと同じ混雑状況でした。混雑はしていましたが、流れはいつもと同じでした。

空港の外にでると、ザンビアのきれいな青空が広がっていました。街中ではマスクを着けている人はほとんど見かけません。少し買い物がありショッピングモールのスーパーに寄りましたが、入口付近で手指のアルコール消毒をして入ります。買い物客は少なく、みんなマスクを着用していました。

運転手もお手伝いさんも元気で安心しました。車3台も無事で、事務所もきれいに片付いていました。彼らにはこれまで週2日出勤で、移動も事務所の車を使うよう指示していました。会計を担当してくれていた人が、4月から他の仕事が見つかり、最低限の仕事しかお願いできませんでした。そのため、その人からお金を運転手に渡し、彼らが両替して家賃などを払い、必要な物品を購入する状況で、これから封筒の中の7か月分のレシートを整理し、帳簿をつけていかななくてはなりません。

1年前は1ドル13.82クワチャでしたが、現在は20.9クワチャとクワチャの価値が下がり、何もかも値上がりしています。この1年で、2つの大きなスーパーマーケットは撤退し、ショッピングモール内の店舗もいくつも閉店しているようです。1年前と比べ停電の時間は短くなったようですが、運転手たちの住んでいる地域では相変わらず停電と水不足が続いているようです。

銀行に行く途中でローカルマーケットを通りましたが、相変わらずの賑わいで混雑していて、人々はマスクを着用していません。銀行では中に入る人を制限し、長い列ができていました。手指のアルコール消毒をして中に入り、お金をおろすのに30分以上かかります。1度に5000ドルしかおろせませんので、しばらく銀行通いをしなくてはいけません。

4月から巡回診療は中止していて、コミュニティヘルスワーカーCHWに薬剤の配布を実施していました。しかし、銀行にお金はあっても私のサインがなくては出金することができず、また、日本からの送金が厳しくなり、ようやくザンビア人の知り合いを通して送金できたのが9月でした。そのためCHWに十分な薬剤を届けることができませんでした。

ルサカに着き、早速薬剤を購入し、11月13日ルアノ・サンダラ・リタタに薬剤を届け、11月17日にはニャンカンガに届ける予定です。薬剤の価格も上がり、特にマラリア検査キットは以前の2倍以上です。雨季も始まり、巡回診療の開始はむずかしく、来年の3月ごろまでは薬剤の配布を継続しようと考えています。

無事にルサカに着き、感染に気を付けながら、たまっている事務仕事を片付けていこうと考えています。日本は新型コロナの陽性者が急増しているようですね。皆様どうぞ十分に注意されて、お元気でお過ごしください。

いつもご支援ありがとうございます。



スーパー入り口でのアルコール消毒（6月の様子写真）

ザンビアでの新型コロナウイルス感染症の状況

*以下のような状況です。

- ・11月20日時点の情報： 感染者 16,697人 死亡者 350人
- ・10月16日時点の情報： 感染者 15,616人 死亡者 344人
- ・9月23日時点の情報： 感染者 13,819人 死亡者 324人
- ・9月4日時点の情報： 感染者 12,381人 死亡者 290人

在ザンビア日本大使館情報（大使館ホームページから引用 10月29日付け）

◎コロナ渦、再開する学校へのマスク等衛生用品の寄贈支援

